1995年　メダカの学校設立
1996年　メダカの学校新聞第1号発行
1996年　CD『メダカの歌』出版記念

CD『メダカの歌』出版記念

“メダカの歌CD”

この詩は7年前に、メダカの学校を開校した時に作った詩です。この詩の意味を歌にしました。この時にはすでに川のメダカは絶滅しようとしていましたが、それでも精一杯群れをなして、お互いに寄り添いながらこの世界にしっかりと、自分達の位置を占めていました。こうしたメダカの姿は、そのまま私達人間の将来と重なって見えます。このまま川を汚し自然を冒涜するなら、いつか私達もメダカと同じように絶滅の危機にひんすのではないでしょうか。

その兆しも具体的に現れてきています。環境を汚した結果、私達の健康は昔は無かったアトピー性皮膚炎や、さまざまな病気におかされています。考えてみれば、私達人間だけが自然のルールを裏切っているのです。人間以外の動物は、自然のルールをやぶることはしません。人間だけがかぎりない欲望をいだき、便利さを求めてルール違反をしているのです。『このままであってはいけない、もう一度原点に戻らなくては』このことが、私が「メダカの学校」をはじめた理由です。

そして、この思いの中から生まれたのが、「メダカの学校」の歌です。昔のメダカの学校の歌は、メダカがいっぱいの美しい地球の歌でした。もう一度昔のメダカの学校の歌のように、メダカがいっぱいの美しい地球にもどろうとの思いで、この歌を作りました。私達人間の手でメダカが消えようとしている今、それをなおすのも私達人間なのです。小さなメダカの声ではありますが、この歌のメッセージが必ずや世界中にひびきわたり、心が豊かになり、争いもなく、メダカがいっぱいの美しい地球になることを信じて止みません。

メダカの声
静けさにメダカの吐息わが友よ
静かなる声の位置の確かさ

「メダカの歌」のもととなった詩

小学校の音楽鑑賞用教材として取り上げられました！

埼玉県越谷市と群馬県館林市内の小学校において、メダカの歌の音楽鑑賞が行われました。

メダカの歌は全国各地の小学校、幼稚園で盛んに流されております。

他の学校でもクリーン作戦に使われたり、四国の養護学校では卒業生に贈る歌として歌われました。

メダカの学校　メダカのお願い

昔のようにメダカがいっぱいの地球にもどそうよ!!

作詞　陸　メダカ
作曲　平池　尚
歌　福島　郁枝

一、みんなの川汚さないで　きれいな地球を取り戻したい
どうして　人間だけが　汚すのか
同じ地球の仲間たち
耳を澄ますと　メダカの声が
怖さに怯え　ふるえているよ
人間だって危ないよ
お願いだから　メダカの住む川
地球を作ろうよ

二、昔の地球　きれいだった
夜明けの目覚めは小鳥の歌で
元気に　輝く森の妖精と
ともに生きてる仲間たち
川の流れにメダカが泳ぎ
夜の舞台にホタルが舞うと
人間だってやすらぐよ
お願いだから　メダカがほほえむ
地球に戻してよ

三、汚してしまい　ごめんなさい
青空　星空　ポロポロ涙
みんなで　平和の風をふかせよう
笑顔がかがやく仲間たち
森も大地も緑がそよぎ
つながる生命　尊い生命
きれいにするよ　だいじょうぶ
お願いだから　メダカがいっぱいの
地球を作ろうよ

メダカの学校 “出 合 い”

メダカの学校のお願いほかに メダカの学校“出合い”と 『ポンタの楽園』が入ってます。

作詞　陸　メダカ
作曲　宮川　つとむ
歌　福島　郁枝

一、あなたが通ってきた道がある　これから通る　道もある
出合いの数だけ　学びが
出合いの数だけ　悲しみも
出合いの数だけ　別れもある
多くの出合いに　ありがとう
いろいろな出合いを大切にしよう

二、あなたが選んできた道がある　これから輝く　道もある
出合いの数だけ　未来が
出合いの数だけ　磨かれて
出合いの数だけ　導びかれ　笑顔もある
多くの出合いに　想い出が
いろいろな出合いにふれてみよう

三、出合いの数だけ　学びが
出合いの数だけ　悲しみも
出合いの数だけ　別れもある
よろこびも　多くの出合いに　ありがとう
いろいろな出合いを大切にしよう

2001年　NPO法人 メダカの学校が内閣府認証

2001年11月15日内閣府より認証書が正式に交付されました。(定款はP2に記載されております。)

メダカの学校が開校してから振り返ってみると、メダカの学校で多くの人達が社会復帰をしていき、とてもうれしいことです。今の世の中、どんどん騒がしくなっていますが、メダカの学校グループは、着々と自分のやるべき道を進んでいます。

NPO メダカの学校の定款はメダカの理念そのものであり、さらなる活動を皆様と共に行っていきたいと思いますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

2002年　“助けて!アトピー”本出版

NPOメダカの学校の活動が本になりました！

“助ける!シリーズ”その1「助けて!アトピー」好評発売中!

なぜメダカの学校はボランティアなのでしょうか。それは、かつて私が重症のリウマチを克服した経験から、アトピーなどで(病気は全て一緒ですが)苦しんでいる人たちが元気になり、社会復帰していくことが、私に喜びと幸せをもたらすからに他なりません。自分がしたいから、行っているに過ぎないのです。(名古屋での活動はボランティアで行ってました)

人間は自分のためだけに生きてはいけない授かった生を自分のためだけでなく、何か用のため、人のために使わなければならないと悟ったのです。メダカの学校は、この精神でボランティア活動を行っています。

この本も、人としての生き方を少しでも学んでいただける方に読んでいただきたく、出版することに致しました。

「本文あとがきより抜粋」

“助けて!アトピー”を出版して12年目に入ろうとしています。
アトピーや、他の病気のことでなく今話題になっている経皮毒(化粧品の害)・デトックス・食の在り方など、どうしたら心も体も健康で生きられるかが12年前に時代を先取りして書かれていますので、もう一度じっくりお読み下さいませ。

理事長　遠藤榮子

著者:遠藤榮子　出版:文芸社　定価:1,000円(税別)

NPOメダカの学校の開校から現在に至るまでの歩み、そして今後の活動等について書かれた決定版です。